

機能面に着目した保育所の環境・空間に係る研究事業

実施概要

7/7/2008

1. 事業の目的：

保育所の設置は児童福祉施設最低基準に基づき必要な人員を配置し、設備を備えることとなっているが、その設備基準は昭和23年に制定されて以来、改正が行われておらず、利用している乳幼児の発達や家庭的な雰囲気の中での生活の営みに適したものになっていないとの指摘がなされている。

このことを踏まえ、乳幼児の生命・安全の保持や心身の健全な発達保障という観点から、現行の構造基準による設備の基準（数値基準）ではなく、乳幼児の生活・活動を支える機能面に着目した保育環境・空間の基準（定性的基準）について検討を行う。

また、近年増加している低年齢児や障害児など、特にきめ細やかな配慮や対応を要する児童の増加を踏まえ、居室、園庭、遊具等の物的環境のあり方を検討する

2. 事業概要：

(1) 調査研究委員会

本事業の推進を図るとともに、子どもの生活・活動を支える機能面からの基準設定と検証を行うため、調査研究委員会を設置し、検討を行う。

※委員構成については別添「委員名簿」参照。

(2) 基礎調査の実施

保育所の保育内容・環境面による違いや、都市規模別等による地域性を踏まえた保育所の実態を把握するため、基礎調査を行う。

(ア) ヒアリング調査の実施

保育内容や環境面で相違のある保育所等で実態を把握するため、ヒアリング調査を実施

(イ) 保育環境実態調査の実施

現在の保育所の保育環境（面積や保育機能等）について、その利用の実態を把握するため、保育所等に対しアンケート調査を実施。

(ウ) 諸外国の保育環境に関する文献調査の実施

(3) 機能面に着目した保育環境・空間の基準案等の策定

上記の基礎調査、比較観察の分析結果をもとに「乳幼児の生活・活動を支える機能面に着目した保育環境・空間の基準案」および「地域の特性に応じた居室・園庭・遊具等の物的環境に関するガイドライン」を策定する。

機能面に着目した保育所の環境・空間にかかる調査研究事業
調査研究委員会委員名簿

(敬称略)

所属	役職名	氏名
◎ 日本女子大学	教授	定行 まり子
藤木隆男建築研究所	代表	藤木 隆男
恵泉女学園大学大学院	教授	大日向 雅美
筑波大学	教授	安梅 勅江
日本社会事業大学	准教授	金子 恵美
三鷹市健康福祉部子育て支援室	室長	市原 勝彦
福井市総務部政策調整室	室長	清水 正明
(社福)吹田みどり福祉会	理事長	菊池 繁信
新宿せいが保育園	園長	藤森 平司
本福寺保育園	園長	三上 智代
保育園を考える親の会	代表	普光院 亜紀

◎委員長

保育等のニーズ調査票(就学前児童用)

総務省承認No.27430

承認期限 平成21年1月31日まで

自治体コード

0 0 0 0 0

1. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします。

問1 封筒のあて名のお子さんの生年月をお伺いします。

平成 年 月 生まれ

問2 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（平成20年4月1日現在の年齢）をご記入下さい。

人 末子の年齢 歳

問3 宛名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 父同居 | 2. 母同居 | 3. 祖父同居 | 4. 祖母同居 |
| 5. 祖父近居 | 6. 祖母近居 | 7. その他（ | ） |

問4 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる |
| 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない |

問5 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方として、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。続柄は宛名のお子さんから見た関係です。

- | | | | |
|---------|---------|----------|--------|
| 1. 主に父親 | 2. 主に母親 | 3. 主に祖父母 | 4. その他 |
|---------|---------|----------|--------|

保育等のニーズ調査票(就学前児童用)

II. 封筒の宛名のお子さんの親御さんの就労状況についてお伺いします。

問6 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）お伺いします。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。併せて、〔 〕に数字の記入をお願いします。

(1) 父親

1. 就労している（フルタイム；育休・介護休業中は含まない） → 1週当たりの平均の残業時間についてお伺いします。 【 1週当たり〔 〕時間 〕
2. 就労している（フルタイムだが育休・介護休業中）
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等） → 就労時間についてお伺いします。 【 1週当たり〔 〕日 ・ 1日当たり〔 〕時間 〕 → 就労日数を増やすことやフルタイムへの転換希望がありますか。 【 ① 希望がある ② 希望があるが予定はない ③希望はない 〕
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまでに就労したことがない
6. その他

(2) 母親

1. 就労している（フルタイム；産休・育休・介護休業中は含まない） → 1週当たりの平均の残業時間についてお伺いします。 【 1週当たり〔 〕時間 〕
2. 就労している（フルタイムだが産休・育休・介護休業中）
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等） → 就労時間についてお伺いします。 【 1週当たり〔 〕日 ・ 1日当たり〔 〕時間 〕 → 就労日数を増やすことやフルタイムへの転換希望がありますか。 【 ① 希望がある ② 希望があるが予定はない ③希望はない 〕
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまでに就労したことがない
6. その他

保育等のニーズ調査票(就学前児童用)

問7は、問6の「(2) 母親」で「4. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「5. これまでに就労したことがない」を選ばれた方にお伺いします。該当なさらない方は、問8へお進みください。

問7 母親の就労希望はありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 有(すぐにでも若しくは1年以内に希望がある)	(→ 問7-1へ)
2. 有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)	(→ 問7-1へ)
3. 無	(→ 問8へ)

問7-1及び問7-2は、問7で「1.有(すぐにでも若しくは1年以内に希望がある)」、「2.有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」を選ばれた方にお伺いします。

問7-1 希望する就労形態はどのようなものですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。(パート、アルバイトを希望の方は一週当たり日数及び一日当たり時間も記入してください。)

1. フルタイムによる就労
2. パートタイム、アルバイト等による就労(週当たり〔 〕日・一日当たり〔 〕時間)

問7-2 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。もっとも近い答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 保育サービス(*)が利用できれば就労したい
2. 働きながら子育てできる適当な仕事がない
3. 自分の知識、能力にあう仕事がない
4. 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない
5. その他()

(*)この調査において「保育サービス」とは、【認可保育園、認定子ども園、家庭的な保育(いわゆる保育ママ)、事業所内保育施設、市区町村等自治体の認証・認定保育施設、その他の保育施設、幼稚園(通常就園時間)、幼稚園(通常就園時間を延長して預かるサービス)、ベビーシッター、ファミリーサポートセンターで、定期的に受けているサービス】として
います。
以下の設問も同様の定義です。サービスの説明については、問9-1を参照してください。

問7-3は、問7で「2.有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」を選ばれた方にお伺いします。

問7-3 宛名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。

<input type="text"/> 歳になったとき

保育等のニーズ調査票(就学前児童用)

母親のみなさんすべてにお伺いします。(該当しない方は、問9にお進みください)

問8 封筒の宛名のお子さんの出産前後(前後それぞれ1年以内)に離職をしましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ〇をつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------|
| 1. 離職した | (→ 問8-1へ) |
| 2. 継続的に働いていた | (→ 問9へ) |
| 3. 出産1年前にすでに働いていなかった | (→ 問9へ) |

問8-1は、問8で「1. 離職した」を選ばれた方にお伺いします。「2.」「3.」を選ばれた方は、問9にお進みください。

問8-1 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。次の中から、あなたのお考えにもっとも近い答えの番号に1つだけ〇をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた |
| 2. 職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた |
| 3. 保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた |
| 4. 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない |
| 5. いずれにしてもやめていた |
| 6. その他() |

保育等のニーズ調査票(就学前児童用)

Ⅲ. 保育サービスの利用についてお伺いします。

問9はすべての方にお伺いします。

問9 封筒のあて名のお子さんの現在の保育サービス（P3の定義参照）の利用の有無についてお伺いします。日頃、定期的にお子さんを預けるサービスを利用していらっしゃいますか。

1. 利用している	(→ 問9-1へ)
2. 利用していない	(→ 問9-4へ)

問9-1～9-3は、問9で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。

問9-1 封筒の宛名のお子さんは、現在、どのような子育て支援サービスを利用していますか。不定期に利用されるものも含めてお答えください。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。

【日中の定期的保育】	
1. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)	7. その他の保育施設
2. 家庭的な保育 (保育ママ：保育者の家庭等で子どもを預かるサービス)	8. 幼稚園(通常就園時間)
3. 事業所内保育施設 (企業が従業員用に運営する施設)	9. 幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長して預かるサービス)
4. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)	10. ベビーシッター
5. 認定こども園【午前・午後を通じた保育の利用】 (保育施設と幼稚園が一体化した施設)	11. ファミリーサポートセンター (地域の会員相互の預け合いサービス)
6. 認定こども園【午前のみ保育の利用】 (保育施設と幼稚園が一体化した施設)	

問9-2 現在の保育サービスの利用状況についてお伺いします。

1週あたり何日、1日あたり何時間(何時から何時まで)保育(延長保育なども含めます)を利用していますか。枠内に具体的な数字でお答えください。時間は、必ず 9:00～18:00(例)のように24時間制でご記入ください。

1週あたり	<input type="text"/>	日	1日あたり	<input type="text"/>	時間	(<input type="text"/> 時～ <input type="text"/> 時)
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----	---

保育等のニーズ調査票(就学前児童用)

問9-3 利用されている理由についてお伺いします。主な理由の番号を1つだけ選んで○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が
1. 現在就労している
2. 就労予定がある／求職中である
3. 家族・親族などを介護しなければならない
4. 病気や障害を持っている
5. 学生である
6. 1～5までの事情はないが、子どもの教育のため
7. その他 ()

問9-4は、問9で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。

問9-4 保育サービスを利用していない理由は何ですか。主な理由の番号を1つだけ選んで○をつけてください。

1. (子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 預けたいが、保育サービスに空きがない
5. 預けたいが、経済的な理由でサービスを利用できない
6. 預けたいが延長・夜間等の場所や時間帯の条件が整わない
7. 預けたいが、サービスの質や場所など、納得できるサービスがない
8. 子どもがまだ小さいため。(____歳くらいになったら預けようと考えている)
9. その他 ()

保育等のニーズ調査票(就学前児童用)

サービスの利用希望について、すべての方にお伺いします。

問10 封筒の宛名のお子さんに関して、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、(利用日数・回数や利用時間が)足りていないと思う保育サービスはどれですか。現在就労していないが、今後就労希望のある方は、就労した場合を想定してお答えください。次の中からあてはまる答えの番号を選んで○をつけてください。

【日中の定期的保育】	
1. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)	8. 幼稚園(通常の就園時間)
2. 家庭的な保育 (保育ママ:保育者の家庭等で子どもを預かるサービス)	9. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かるサービス)
3. 事業所内保育施設 (企業が従業員用に運営する施設)	10. 延長保育
4. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)	11. ベビーシッター
5. 認定こども園【午前・午後を通じた保育の利用】 (保育施設と幼稚園が一体化した施設)	12. ファミリーサポートセンター (地域の会員相互の預け合いサービス)
6. 認定こども園【午前のみ保育の利用】 (保育施設と幼稚園が一体化した施設)	【その他保育】
7. その他の保育施設	13. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを預かるサービス)
	14. 病児・病後児保育 (子どもの病気時の保育)
	【その他】
	15. 特にない

問10で「15. 特にない」以外を選んだ方にお伺いします。

問10-1 サービスを利用したいと考えている理由はどのようなことですか。次の中からもっともあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している
2. 現在就労しているが、もっと日数や時間を増やしたい
3. 就労予定がある/求職中である
4. そのうち就労したいと考えている
5. 就労していないが、子どもの教育などのために子どもを預けたい
6. 家族・親族などを介護しなければならない
7. 病気や障害を持っている
8. 学生である/就学したい
9. その他 ()

保育等のニーズ調査票(就学前児童用)

IV. 育児休業制度の利用についてお伺いします。

問11 封筒の宛名のお子さんについて、母親又は父親が育児休業制度を利用なさいましたか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

1. 母親が利用した	
2. 父親が利用した	(→ 問11-1へ)
3. 母親と父親の両方が利用した	
4. 利用しなかった	(→ 問12へ)

問11-1,11-2は、母親又は父親が育児休業を取得されていた方についてお伺いします。

問11-1 育児休業から復帰なさったとき、お子さんの月齢は何ヶ月でしたか。枠内に、具体的に数字でご記入下さい。(お子さんが1歳以上の場合も月に換算してお答えください。問11で3. とお答えになった方は、最後の育児休業利用者が復帰された時についてお答えください。)

子どもは <input type="text"/> ヶ月だった

問11-2 育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できましたか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

1. 育児休業期間を調整せずにできた	
2. 育児休業期間を調整したのでできた	(→ 問11-3へ)
3. できなかった	(→ 問11-4へ)
4. 希望しなかった	

問11-3 「2. 育児休業期間を調整したのでできた」を選ばれた方にお伺いします。育児休業明けに希望する保育サービスが確実に利用できたとしたら、育児休業は実際に取得した期間と変わりましたか。あてはまる答えの番号に○をつけ、「2.」及び「3.」を選ばれた方は、枠内に数字でご記入ください。

1. 変わらない	2. 長くした <input type="text"/> ヶ月	3. 短くした <input type="text"/> ヶ月
----------	---------------------------------	---------------------------------

問11-4 「2. できなかった」を選ばれた方にお伺いします。どのように対応されましたか。

1. 希望とは違う認可保育所を利用した
2. 事業所内の保育サービスを利用した
3. 上記以外の保育サービスを利用した
4. 家族等にみてもらうことで対応した
5. 仕事を辞めた

保育等のニーズ調査票(就学前児童用)

V. 宛名のお子さんの病児・病後児保育についてお伺いします。

問12 保育サービスを利用している保護者の方にお伺いします。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の保育サービス（問7-2の定義参照）が利用できなかったことはありますか。

1. あった	(→ 問12-1,2へ)
2. なかった	(→ 問13へ)

この1年間の、お子さんが病気で通常の保育サービスが使用できなかった場合の対処方法と、仕事を休んだ日数はどれくらいありましたか。父親、母親等それぞれについてお答えください。

問12-1 この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。
(半日程度についても1日としてカウントしてください)

問12-2 「父親または母親が休んだ」、「親族・知人に預けた」欄に回答された方に伺います。その際、できれば施設に預けたいと思われた日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。

↓

1. 父親が休んだ			日
2. 母親が休んだ			日
3. (同居者を含む) 親族・知人に預けた			日

↓

できれば施設等に預けたい			日
--------------	--	--	---

4. 就労していない保護者がみた			日
5. 病児・病後児の保育サービスを利用した (保育園で実施しているサービスを含む)			日
6. ベビーシッターを頼んだ			日
7. ファミリーサポートセンターにお願いした			日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた			日
9. その他 ()			日

保育等のニーズ調査票(就学前児童用)

VI. すべての方に、宛名のお子さんの一時預かりのことについてお伺いします。

問13 この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

1. ある	→	年間	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	日				
(理由別)								
		① 私用（買物、習い事等）、 リフレッシュ目的						日
		② 冠婚葬祭、子どもの親の病気						日
		③ 就労						日
2. ない								

VII 来年度就学予定の児童を持つ保護者の方にお伺いします。

問14 宛名のお子さんについて、小学校入学以降の放課後の過ごし方について、放課後児童クラブを利用したいと思いませんか。
【放課後児童クラブ…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子ども（おおむね10歳未満）の生活の場を提供するものです。】

1. 利用したい	→	週	<input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/>	日くらい
2. 利用予定はない				

VIII. ベビーシッターを利用していらっしゃる方にお伺いします。

問15 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

1. 主たる保育サービスとして利用している
2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）
3. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
6. その他の目的で利用している

問15-1 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

月に	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>	日くらい		1回あたり	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>	時間程度
----	---	------	--	-------	---	------

保育等のニーズ調査票(就学前児童用)

IX. ファミリーサポートセンターを利用している方にお伺いします。

問16 どのような目的で利用していますか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

1. 主たる保育サービスとして利用している
2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等)
3. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
6. 保育施設等の送り迎えに利用している
7. その他の目的で利用している

問16-1 どれくらいの頻度で利用していますか。枠内に数字をご記入ください。

月に

日くらい

1回あたり

時間程度

病児・病後児保育の再編

<19年度まで>

(ソフト交付金)

- 病院・保育所等に付設された専用スペースで看護師等が病児・病後児を預かる事業。

- 19年度予算額 36,500,000千円の内数
- 18年度実績 682カ所(交付決定ベース)

(特別会計)

- 保育中に体調不良となった児童を保護者が迎えに来るまでの間、保育所の医務室等で看護師等が預かる事業

- 19年度予算額 1,041,680千円

[現状]

- ・子ども・子育て応援プランに基づき、計画的な事業の取組を目標とする。
- ・平成19年度より、保育所における体調不良児への対応を行う自園型を創設。

[課題]

- ・少子化対策の課題として、病児・病後児保育の対応が求められている。(「子どもと家族を応援する日本」重点戦略)
- ・補助金額が少なく、ほとんどの病児・病後児保育室で赤字経営となっている。(規制改革会議指摘内容)

<20年度から>

再編・強化

- ・子どもの状態に応じて、

①病児対応型	@848万円(定員4人以上)	@603万円(定員2人以上)	} (予定)
②病後児対応型	@679万円(定員4人以上)	@463万円(定員2人以上)	
③体調不良児対応型	@441万円		

*事業を実施するために必要な経費の一部を保護者負担とすることができる。

の3つに類型化し、役割の明確化を図る。

*従前の病児・病後児保育事業の職員配置に基づき実施する事業についても、当分の間、経過措置として実施可。
(施設型(A・B・C型)、派遣型)

- ・安心かつ安全な体制により子どもを預かれるよう職員体制の充実と補助単価の見直しを行う。
- ・補助体系を一本化し、地域における一体的な整備、効率的な運用を促す。
- ・20年度予算額(案) 2,702百万円
- ・負担割合 1/3(国1/3、都道府県1/3、市町村1/3)
(国1/3、政令市・中核市2/3)